

看護学部 看護学科 4 年次 シラバス

開設科目名	保健医療福祉行政論	科目コード	BSNFN401	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義、演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子 田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
保健医療福祉行政の最近の動向ならびに地域公共団体の保健・医療・福祉行政の理念と仕組み及び計画策定、実行、評価のサイクルについて学び、公衆衛生分野における保健師の役割、地域での活動方法を理解する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1．保健医療福祉の重要な制度と関係法律について説明できる。			◎3 看護実践知識 ◎4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力		
2．保健医療福祉の関係機関の連携のあり方について説明できる。					
3．保健医療福祉分野において看護職が果たす役割について説明できる。					
4．保健医療福祉の計画と評価について説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	保健医療福祉サービスの行政体系 保健医療福祉行政の目的、市町村・都道府県の役割	講義 <遠隔>	眞崎	教科書の P2-15、54-61 を読んでおくこと。 各講義終了時に指示する。	4 時間
2	子育て支援 「健やか親子 21」の推進施策、	講義 <遠隔>	眞崎	教科書 P35-39 を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4 時間
3	精神医療保健福祉対策 精神障害者の社会復帰施策、精神医療の法律と制度	講義 <遠隔>	眞崎	教科書 P44-46 を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4 時間
4	福祉行政 障害者総合支援法、医療費公費負担制度など	講義 <遠隔>	眞崎	教科書 P142-148 を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4 時間
5	医療行政、 医療計画、地域医療の確保、医療安全対策など	講義 <遠隔>	眞崎	教科書 P95-110 を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4 時間
6	介護保険制度 介護保険制度の概要、サービス内容など	講義 <遠隔>	眞崎	教科書 P114-125 を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4 時間
7	感染症法と人権擁護 結核、エイズ対策など	講義 <遠隔>	田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
8	保健医療福祉行政についての討議	討議 <遠隔>	眞崎	これまでの資料 各講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	課題 GW 発表 質疑応答、個人課題 50%、授業外レポート 50%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	・標準保健師講座 保健医療福祉行政論：医学書院 ・国民衛生の動向：厚生統計協会 ・公衆衛生看護学、JP：インターメディカル ・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や他機関の役割に関心をもって臨んでください。 ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第 8 回について、「都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	医療統計学Ⅲ	科目コード	BSNFN402	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（ 自由 ）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代		
授業の概要（授業の目的）					
医療統計学Ⅰ・Ⅱの理解を基礎に、疫学で用いられる生物統計学の実際の活用法を習熟する。疫学調査と保健活動における統計学理論を振り返り、実例に対応できる能力を醸成する。もって、保健師として将来活動する際の医療統計学に関する基盤的知識と判断力を養う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1）連続データを図表化し、分布の特性と代表値が説明できる。				◎ 9 科学的根拠に基づく看護	
2）データを集計し、2 変量の関係を図表化できる。					
3）尺度の種類を理解し、適切な検定手法の選択ができる。					
4）推測統計の考え方を理解し、検定結果の意味を説明できる。					
5）人口統計と保健統計調査の動向が説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	人口統計	講義 〈面接〉	堤	教科書 P82～98 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	2 時間
2	保健統計調査	講義 〈面接〉	堤	教科書 P82～98 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
3	尺度の種類（度数分布とヒストグラム）	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P157～166 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
4	一変量の記述統計（代表値）	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P157～166 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
5	二変量の記述統計（クロス集計・相関）	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P172～174 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
6	推測統計の考え方と検定の種類	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P174～179 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
7	平均の差の信頼区間と t 検定	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P183～184 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
8	χ ² 乗検定とオッズ比	講義・個人ワーク 〈面接〉	堤	教科書 P180～182 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
成績評価方法・基準		Webclass による筆記試験 100%（評価者：堤）			
課題に対するフィードバック		授業後の小テストは webclass で受験終了後に解説が表示されますので復習に役立ててください。 筆記試験については、再・追試験終了後に解説を webclass にて掲示します。			
教科書		浅野嘉延著『看護学生のための疫学・保健統計』			
参考書・参考文献		柳川堯著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』近代科学社			
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他		統計ソフトを操作しながら、統計学の知識を身につけていきます。 対面授業は、パソコン室（242 教室）で行います。各自で USB メモリーを持参してください。遠隔授業に切り替える場合もあるため、自宅の PC にも Microsoft Excel をインストールし、授業を受けながら演習ができる環境を準備しておいてください。PC の準備ができない場合はご相談ください。 保健師国家試験に対応した内容ですので、毎回の課題テストで必ず復習を行ってください。疑問点はメールで質問を受けますので、遠慮なくお尋ねください。堤 千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2 号館 220 室（内線 240） tsutsumi@stmariacjp.onmicrosoft.com 私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。第 6 回ではこれまでの調査研究で用いた手法のいくつかを紹介します。			

開設科目名	疫学Ⅲ	科目コード	BSNFN403	開設期	4 年 前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
公衆看護の実践に必要な疫学の概念と方法についての基本を理解し、将来、保健師として活動するための実践応力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
保健師において必要とされる疫学知識を習得する			3. 看護実践知識		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業は Microsoft Teams による同時双方向型で実施					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学の概念	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
2	疾病頻度の指標	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
3	曝露効果の指標	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
4	疫学調査法	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
5	スクリーニング	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
6	疾病登録	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
7	生活習慣病の疫学	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
8	主な疾患の疫学、エビデンスに基づく公衆衛生看護に関連する疫学	講義〈遠隔〉	井手	授業内容の復習	2 時間
成績評価方法・基準	② 各回の復習レポート 50%（提出は WebClass に行ってください。） ②定期試験 50%（筆記試験または WebClass 上で実施します。） 科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	試験後、筆記試験の模範解答は WebClass に掲載します。				
教科書	南山堂『看護学生のための疫学・保健統計』				
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』 医学書院『標準保健師講座 疫学・保健統計学』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	保健師の国家試験出題範囲「疫学」を見据えた内容の科目です。 連絡先 井手悠一郎（6 号館 2 階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜 16：00～17：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 メール等での質問も可です。（アドレスについては Office 365 を参照してください） ICT の活用：復習レポートにおいては、1～8 回の授業内容についての復習ノート（手書きまたは Word）を作成し、手書きの場合は、Office Lens 等で撮影を行った上で（pdf 形式）、WebClass へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdf のみ） その他：第 4 回については、「Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。				

開設科目名	臨床看護学実習 I	科目コード	BSNNCP304	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数 (履修区分)	3 単位 (必修)	時間数	135 時間	授業区分	実習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、石本祥子、塩沼望美、綱脇慎治、他		
授業の概要 (授業の目的)					
クリティカルな状態にある成人期の患者にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する。クリティカルな状態、周術期にある患者や家族への看護について学ぶとともに、患者モニタリングの重要性について理解する。さらに、患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) クリティカルな状態、周術期にある成人期の患者の行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標、介入、評価ができる。			◎ 8. 看護実践技術		
2) 看護過程の展開は、全ての段階において常にクリティカルに思考することができる。			◎ 9. 科学的根拠に基づく看護		
3) 患者のモニタリングの必要性を理解し、実施できる。			◎ 10. ケアリングの実践		
4) クリティカルケアの場の種類と特性および看護師の役割について記述できる			11. 多様な価値を尊重する姿勢		
5) 患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての倫理観や価値観、公平性、相手を尊重する態度について記述できる。			12. 他職種協調リーダーシップ		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の方法：Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実 習 * 一部 遠 隔 に て 実 施	各担当 教 員	・Nursing Clinical Practicum Hand Book を熟読する	
2				・クリティカルな状態、周術期にある患者・家族の特徴と看護について	
3				の復習	
4				・系統的情報収集のためのインタビュー技術の復習	
5				・フィジカルアセスメント技術の復習	
6				・担当患者の疾患・病態、検査・治療に関する学修	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		臨床看護学実習 I の評価表に基づく評価 100% 成績評価者：担当者全員			
課題に対するフィードバック		実習前・実習中・実習後にコメントを伝えフィードバックします			
教科書		・シスター・カリス・ロイ原著／松木光子監訳、ザ・ロイ適応看護モデル第 2 版、医学書院、2010。 ・監訳日本看護診断学会、N A N D A - I 看護診断 定義と分類 2018-2020、医学書院、2018。			
参考書・参考文献		・「病気が見える」シリーズ ・林直子他編：成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護（改訂第 3 版）、南江堂、2019。			
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他		* オフィスアワー：鶴田明美（2 号館 1 階 L223 研究室）火曜 16:00～17:00（事前予約） E-mail:tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com * メッセージ：実習全般に関する問い合わせは科目責任者、病棟実習に関する事項については各指導教員にご連絡ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	臨床看護学実習Ⅱ	科目コード	BNSA 305	開設期	3 年後期・4 年前期
単位数（履修区分）	3 単位（必修）	時間数	135 時間	授業区分	実習
責任者	崎田 マユミ	担当者	日高艶子、崎田マユミ、近末清美、小浜さつき、石本祥子、塩沼望美、綱脇慎治、有働由樹、他		
授業の概要（授業の目的）					
慢性疾患，慢性の機能障害を持つ成人期の患者にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する．特にセルフケアと自己概念，対処の傾向を理解する．また，適応状況を維持，促進するための自己管理を目標とした患者教育について学ぶ．さらに，慢性疾患，慢性の機能障害を持つ患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ．					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.慢性疾患，慢性の機能障害を持つ成人期の患者の行動のアセスメント，刺激のアセスメント，看護診断，目標，介入，評価ができる．			◎3. 看護実践知識		
2.看護過程の展開は，全ての段階において常にクリティカルに思考することができる．			4.論理的・科学的問題発見力		
3.対象者のセルフケアと自己概念，対処行動について述べるができる．			◎5. 問題解決判断力		
4.対象者の適応状況を維持・促進するためのセルフマネジメントを目標とした患者教育について述べるができる			◎8. 看護実践技術		
5.慢性疾患，慢性の機能障害を持つ患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての倫理観や価値観，公平性，相手を尊重する態度について述べるができる．			9. 科学的根拠に基づく看護		
			◎10.ケアリングの実践		
			11.多様な価値を尊重する態度		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book （実習ハンドブック） 参照	各指導 教員	実習	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく	
2			※	ロイ適応看護モデルの復習	
3			一 部	観察や測定の技術の復習	
4			遠 隔	患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習	
5			に て	慢性期看護の復習	
6			実施	その他、各自の不足する内容を学習する	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		臨床看護学実習Ⅱの評価表に基づく評価 100%（成績評価者：各実習担当教員）			
課題に対するフィードバック		実習前・実習中・実習後にコメントを伝えフィードバックします。			
教科書		① シスター・カリスタ・ロイ／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院， ② 日本看護診断学会監訳：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2018-2020，日本看護診断学会，医学書院，2018. ③ Lynn S. Bickley 他著，福井次矢他監修：ペイツ診察法 第2版．メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015.			
参考書・参考文献		・『病気がみえる』シリーズ ・臨床看護診断学、スキルラボ臨床レベル1・2、臨床看護学方法論Ⅱ、臨床看護学方法論演習等で使用したテキスト・資料			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：崎田マユミ（7 号館 3 階 733 号室）；火曜 16：30～17：30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス：sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com 学習相談：実習全般に関する問い合わせは科目責任者にご連絡下さい。 各実習病棟での実習に関する問い合わせは各指導教員にご連絡下さい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	精神看護学実習	科目コード	BSNNCP307	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、倉成由美、八谷美絵		
授業の概要（授業の目的）					
精神障がいを持つ患者と治療的関係を築き、患者の全体像を把握する能力を養う。また、チーム医療における看護師の役割を理解する。さらに、精神障がい者の治療開始から社会復帰までの過程、および地域で生活する精神障がい者とその家族に対する援助について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）患者-看護師関係を形成するために必要な基本的姿勢を身につける。			2 豊かな人間性の基礎 3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2）患者の全体像をとらえることができる。			◎8 看護実践技術 9 科学的根拠に基づく看護 ◎10 ケアリングの実践 11 多様な価値を尊重する姿勢		
3）チームアプローチにおける看護師の役割を認識する。			12 他職種協調リーダーシップ		
4）精神障がいを持ちながらその人らしく生きていくために家族、社会のあり方を考えることができる。			14 看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） ※遠隔授業の方法： Teams または Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	急性期病棟、精神一般病棟、療養病棟のいずれかで実習する。 詳細は Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実習	谷 倉成 八谷 ※ 一部遠隔にて実施	事前学修を行い実習に備える。	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		実習評価表に基づく評価 100%（担当者全員）			
課題に対するフィードバック		実習中、日々フィードバックします。			
教科書		・精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり 南江堂 2015 ・精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 南江堂 2015			
参考書・参考文献		・リンダJ. カルベニート著 新道幸恵 監修 竹花富子 訳『看護診断ハンドブック 第10版』医学書院 2013 ・大熊輝雄 現代臨床精神医学 金原出版 2013 ・中井久夫 看護のための精神医学 医学書院 2004 ・坂田三允 症状別にみる精神科の看護ケア 中央法規 2007			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		谷 多江子（6 号館 622 研究室） オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 「シャドウイング」に関する研究成果を一部参照して実習を展開します。			

開設科目名	母性看護学実習	科目コード	BNSA309	開設期	3年後期～4年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、桃井雅子、井口亜由、野口ゆかり、柳本朋子、川上桂子 他		
授業の概要（授業の目的）					
周産期にある女性（母子）と家族を対象に、対象者が自らの力を最大限に発揮しながら、正常な経過をたどるための看護を展開する。また、周産期の女性と家族が、新たな家族を築く過程において、個々の家族の意思や価値観を尊重する姿勢を持ち、家族が本来もつ力を最大限に活かす看護について具体的に考え、実践する力を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1．周産期にある対象者（母子とその家族）が持つ個別的なニーズを全人的に捉え、アセスメントできる。			◎ 1．生命の価値・人間の尊厳 ◎ 3．看護実践知識 4．論理的・科学的問題発見力 5．問題解決判断力 6．コミュニケーションスキル ◎ 8．看護実践技術 ◎ 9．科学的根拠に基づく看護 ◎ 10．ケアリングの実践 11．多様な価値を尊重する姿勢 12．他職種協調・リーダーシップ		
2．周産期にある対象者の正常な心身の適応過程を、的確にアセスメントできる。					
3．周産期に起こりうる正常な適応過程からの逸脱を予測し、的確にアセスメントできる。					
4．上記 1 ～ 3 のアセスメントによって導かれた個別的なニーズに沿って、その人（家族）らしさを尊重したケア、個々の生活やペースに沿ったケア、これらを計画立案・実践、評価できる（適宜、看護計画を変更・修正できる）。					
5．上記 1 ～ 4 の看護過程を展開する上で、以下の①～④視点から考察し、理解を深めることができる。 ①根拠に基づく安全かつ安楽なケア ②母子や家族の持てる力を最大限に活かすケア ③周産期の対象者の意思や価値観を尊重したケア ④周産期における女性と家族のプライバシーに配慮し、護るためのケア、					
6．ケア／ケアリングの考え方に基づき、対象者の人格の尊厳を尊重し、対象者に思いを寄せ、対象者にとってより善いケアとは何かを考察し探求することができる。 また、ケアを探求する過程においては、他者（臨床指導者、他の学生、教員等）と協力・協働すること、必要に応じて支援を求める等の、適切なコミュニケーションを自ら取ることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等））※遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	詳細は Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実習	浅野他 ※ 一部遠隔にて実施	ウィメンズヘルス概論、母性看護学Ⅰ・Ⅱの他、当科目に関連する既習科目を復習しておく。	
成績評価方法・基準	①評価表に基づく評価（別紙参照）90%（担当者全員）、 ②課題レポート（実習中に提示）10%（担当者全員）				
課題に対するフィードバック	フィードバックは、実習中ならびに実習終了後の、カンファレンスや個別面談にて行います、				
教科書	当科目に関連する教科書および参考書				
参考書・参考文献	＊受け持ちの方々の状況により、必要な参考書は異なる場合があります。自ら文献を探索したり、人的リソース（学生、教員、図書館司書 他）にアクセスして学習に必要な文献を見つけることにチャレンジしてください。 ＊ウィメンズヘルス概論、母性看護学方法論Ⅰおよび母性看護学方法論Ⅱでご紹介した文献も参考にしてください。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	＊オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） ＊学習相談：随時受け付けます。 ＊メッセージ：周産期の母子と家族に向けた“人格の尊厳を尊重する看護ケア”、“個々の持てる力を活かす看護ケア”について、実習を通して深く理解してください。またその際には、皆様方がこれまでに学び、また皆様方に既に賜物として与えられている、他者に関心に寄せること、他者の立場に立ち考えること、他者への思いやりの気持ち、これらを意識して活かし、大切に育みながら実習に臨んでくださることを願っています。 ＊その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 浅野著（共著）「児の母乳吸吮に基づく乳房ケア」を引用しながら実践教育を目指します。 「『体感』活性化マザークラスの実践とその根拠・第2報 -「体感」と「体感」活性化の裏づけ-」「キューブラロスの体験における陣痛の表象」の研究成果を使って妊娠期、分娩期の身体経験について実習で出会う現象の理解に取り組みます。				

開設科目名	小児看護学実習	科目コード	BSNNCP311	開設期	3 年後期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	大城知恵	担当者	大城知恵、原知子、龍聖子		
授業の概要（授業の目的）					
子どもと家族のおかれている環境を把握し、成長発達段階に応じたコミュニケーションを獲得する。また、小児看護学の対象者に対し、ロイ適応看護モデルを用い、影響を与えている条件、状況、環境因子、適応のプロセスと問題を明確にし、必要な介入を考察し、子どもの権利を基盤とした援助を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）保育所・病棟：子ども成長発達を理解し、子ども・家族とコミュニケーションを図ることができる。			3.看護実践知識 4.論理的・科学的問題発見力 ◎5.問題解決判断力 8.看護実践技術 ◎9.科学的根拠に基づく看護 10.ケアリングの実践 12.他職種協調・リーダーシップ		
2）保育所・病棟：子ども、家族の環境を理解し、事故防止や感染予防に努め、子どもセルフケアを促す支援を実施できる。					
3）病棟　：健康障害を抱える子どもと家族について、行動のアセスメント、刺激のアセスメントから看護問題を考え、説明することができる。					
4）病棟　：子どもと家族の非効果的行動に対し、子どもの権利を踏まえて安全で個別性のある援助が実施できる。					
5）　保育所・病棟：子どもの成長発達と健康を促すために必要な保育士の役割、看護師や他職種の役割をと連携を知り、説明することができる。					
6）学生もチームの一員であることを自覚し、看護専門職としての倫理的行動ができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1 週目：保育所	実習 ※　一部遠隔 （Teams）にて実施	大城 原、龍	課題学習の完成	4 時間
				授業の配布資料・教科書の復習	2 時間
	2 週目：病棟	実習 ※　一部遠隔 （Teams）にて実施	大城 原、龍	課題学習の完成	5 時間
				授業の配布資料・教科書の復習・技術演習	4 時間
成績評価方法・基準		評価方法：評価表に基づく評価 90％　実習課題 1 0％			
課題に対するフィードバック		実習の事前課題や実習中の課題に対し、個別に指導をし、フィードバックを行う。			
教科書		1.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護　第 6 版、メディカ出版、2021。 2.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術　第 4 版、メディカ出版、2021。 3.奈良間美保他：系統看護学講座　小児臨床看護各論　小児看護学 2　医学書院　2020。			
参考書・参考文献		・シスター・カリスト・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第 2 版，医学書院，2014。 ・鴨下重彦　他監修　子どもの病気の地図帳　講談社，2002。 ・石黒彩子/浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程　医学書院　2017。			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		ワイアワー 大城：金　12：10～13：10（L216 研究室） 原　：水 12：10～13：10（L632 研究室）　龍　：水 12：10～13：10（L632 研究室） メッセージ：インフルエンザ予防接種、その他必要とされる予防接種については流行前の段階で接種を終了し実習に臨んでください。 Web　class に提示している吸入援助の動画や酸素投与についてあらかじめ視聴し病棟実習に臨んでください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目は「医療安全教育」に関する研究成果を一部参照して実習を行います。			

開設科目名	老年看護学実習	科目コード	BSNNCP313	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数（履修区分）	4 単位（必修）	時間数	180 時間	授業区分	実習
責任者	中村和代	担当者	中村和代、本田 歩美 他		
授業の概要（授業の目的）					
老年看護学および関連科目で学んだ知識・技術を基盤とし、加齢に伴う心身の変化や疾患および障害のある高齢者を対象に、対象者やその家族にとつてのより良い生活(QOL)を支援するための看護について実習を通して学ぶ。さらに、最期までその人らしく生きるための最善の医療・最善のケアについて倫理的観点も含めて探求する姿勢を養う。また、他職種との連携や看護師の役割についても理解を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 加齢に伴う心身の変化について理解し健康障害との関連を説明できる			1.生命の価値・人間の尊厳 2.豊かな人間性の基礎 3.看護実践知識 5.問題解決判断力, ◎10.ケアリングの実践 11.多様な価値を尊重する姿勢 12.他職種協同リーダーシップ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
2) 健康障害が高齢者の日常生活動作、生活機能に及ぼす影響について説明できる					
3) 高齢者やその家族への倫理的配慮や倫理的課題について考えることができる					
4) 担当患者の看護展開を通して実践的な看護方法を身につける					
5) 保健、医療、福祉の各専門職の役割と連携および看護職の役割について説明できる					
6) 施設利用者（入所および通所）の生活上の課題や支援方法について考察できる					
7) 施設入所者の看護および QOL を維持・向上させるためのケアが実施できる					
8) 高齢者の看護に関心を持ち、問題解決や看護を探求する姿勢を身につける					
9) 実習を通して高齢者看護観を養い表現できる					
10)実習を通しての学修の成果と今後の課題について表現できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	老年看護学実習 A（90 時間）	実習 一部、学内および遠隔(Teams)にて実施	中村 本田 他	実習開始前までに、事前学習する	2 時間
	期間：2 週間（月～金）			老年看護学概論・方法論Ⅰ・Ⅱの復習	
	場所：ヘルスケアセンター5 階または同 7 階			看護過程の展開に関する取り組み	毎日 1 時間
	老年看護学実習 B（90 時間）				
	期間:2 週間（月～金）			日々の実習の振り返り・考察	毎日 1 時間
	場所：介護老人保健施設 聖母の家				
	詳細は、実習ハンドブックを参照する				
成績評価方法・基準		老年看護学実習 A/B 評価表に基づく評価 100%（評価者：科目責任者・実習担当者）			
課題に対するフィードバック		随時、対面指導、日々の実習記録へのコメント、およびカンファレンスなどでフィードバックいたします			
教科書		・北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ・鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ・山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第 1 版 医学書院 ・NANDA-1 看護診断定義と分類 医学書院			
参考書・参考文献		・奥宮暁子 ウェルネスの視点に基づく老年看護過程 医歯薬出版 2019. ・バーニー・アリゴ,他 回想法アクティビティハンドブック すぴか書房 2018. ・鈴木みずえ 認知症の看護・介護に役立つよくわかるパーソン・センタード・ケア 池田書店 2017.			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：毎週（月）16:30-17:30, 学習相談は随時受け付けます。 中村 和代（6 号館 2 階 625 研究室、内線 217）, Office365 のメールの利用も可 ＊ICT の活用：遠隔実習では Teams を利用します。参考資料は WebClass 内にアップロードしています。 老年看護学概論ワークシート、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱで使用したワークブックをご活用ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	公衆衛生看護管理論Ⅱ	科目コード	BSNANS401	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子 堤千代 田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
地域保健課活動に係わる参加型実践方法を探求する。 疫学・統計手法による地区診断モデルを探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 地域保健活動の展開理論、方法について実際の活動事例を用い学ぶ。			3 看護実践知識		
2. 理論・方法を用いた文献から活動展開上の課題を探求する。			4 論理的・科学的問題発見力		
3. 活動展開に要する住民全体の関係機関・関係者との連携・協働に係わる参加型実践方法、 ならびに、疫学・統計手法による地区診断の方法・技術を学び、地域看護活動展開上の 質的・量的根拠資料の作成技術を習得する。			◎5 問題解決判断力 ◎8 看護実践技術 ◎9 科学的根拠に基づく看護		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	地域保健活動の動向 地域保健活動に係わる理論・モデル	講義<遠隔>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
2	地域保健活動に係わる理論と実践活動 必要な情報とは 必要な情報と情報の入手法 地域診断と PDCA サイクルによる実践方法	講義<遠隔>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
3	地域保健活動参加型実践方法 アセスメントの方法 計画と実践、評価法	講義<遠隔>	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
4	疫学・保健統計 統計資料の入手と分析法	講義<遠隔>	堤	各講義終了時に指示する。	4 時間
5	疫学・保健統計の実際	講義<遠隔>	堤	各講義終了時に指示する。	4 時間
6	地域診断の実際(1) 実習地域の情報収集	フィールドワーク <対面>	眞崎、田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
7	地域診断の実際(2) 実習地域の地区踏査および既存統計を使い、地域診 断コミュニティパートナーモデルおよびプリシードプロシード モデルで分析を行い、パワーポイントを使用し発表。	GW<遠隔>	眞崎、田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
8	地域保健活動実践(1) 健康教育のシナリオ作成及び指導	GW<遠隔>	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
9	地域保健活動実践(2) 健康教育のシナリオ作成及び指導	GW<遠隔>	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
10	地域保健活動実践(3) 健康教育のシナリオ作成及び指導	GW<遠隔>	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
11	地域診断の発表(1)	討論<遠隔>	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
12	地域診断の発表(2)	討論<遠隔>	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
13	地域診断の修正(1)	GW<遠隔>	眞崎、田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
14	地域診断の修正(2)	GW<遠隔>	眞崎、田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
15	地域保健活動におけるグループ支援・組織化	討議<遠隔>	眞崎、田中	各講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	プレゼンテーション 50%（担当者全員）、授業外レポート 50%（眞崎）				
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションのフィードバック：各プレゼンテーション後の意見交換、定期試験のフィードバック：出題意図を説明する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P：インターメディカル・国民衛生の動向：厚生統計協会・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア ・保健師業務要覧				
参考書・参考文献	・適宜提示する。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 7 号館 2 階 722 室（内線 722） ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です 第 2 回について、「都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	集団・組織援助論Ⅱ	科目コード	BSNANS402	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤千代	担当者	堤千代、眞崎直子、渋江暁春、野上裕子、田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
実習施設ごとの指定されたテーマに沿って、住民対象の健康教室を実施するための指導案を作成する。その演習を通して、地域の健康課題を集团的アプローチによって解決する手法について学び、実習前の実現地域における健康教育の技術・方法にかかる、実践的な能力を育成する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 健康課題と行政施策との繋がりについて、説明できる			9 科学的根拠に基づく看護 ◎13 地域国際社会への貢献		
2) 健康教育を行う意義について、根拠に基づき説明できる					
3) 提供する健康情報のエビデンスを生物学的側面、疫学的側面から説明できる					
4) 授業構成を工夫し、指導の一連の過程を明示した指導案を作成できる					
5) 対象者の特性をとらえ、それに合わせたプレゼンテーションの工夫ができる					
6) 実施した健康教室の評価の視点を述べることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔は Teams によるリアルタイムオンライン授業とグループワーク					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康課題把握（地域診断）に基づく活動計画・実践・評価	講義 〈遠隔〉	眞崎	地域診断から活動計画・実施・評価について学習	4 時間
2	住民ニーズの施策化	講義 〈遠隔〉	眞崎	ニーズの把握方法から施策化について学習する	4 時間
3	地域におけるグループ支援・組織化	講義 〈遠隔〉	眞崎	グループ支援・組織化について文献などで学習する	4 時間
4	健康教育の位置づけとエビデンスの追究	講義・GW 〈遠隔〉	堤	学校健康教育のテーマについて文献を調べる	4 時間
5	教室の構成と指導案	講義・GW 〈遠隔〉	堤	学校健康教育の指導案構成を検討する	4 時間
6	指導案の書き方と媒体	講義・GW 〈遠隔〉	堤	学校健康教育の指導案を Teams に提出する	4 時間
7	指導案作成演習① 情報収集	講義・GW 〈遠隔〉	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4 時間
8	指導案作成演習② 指導案構成	GW 〈遠隔〉	堤	担当地域の指導案を作成し Teams に提出する	4 時間
9	担当地域の健康教育指導案作成演習①エビデンス	GW 〈遠隔〉	堤・他	指導を受けた指導案について修正する	4 時間
10	担当地域の健康教育指導案作成演習②導入	GW 〈遠隔〉	堤・他	担当地域の指導案を作成し Teams に提出する	4 時間
11	担当地域の健康教育指導案作成演習③展開	GW 〈遠隔〉	堤・他	指導を受けた指導案について修正する	4 時間
12	担当地域の健康教育指導案作成演習④まとめ	GW 〈遠隔〉	堤・他	プレゼンテーションの準備をしておく	4 時間
13	プレゼンテーション①健康教育指導案発表	発表 〈遠隔〉	堤・他	プレゼンテーションの準備をしておく	4 時間
14	プレゼンテーション②住民役からの意見	発表 〈遠隔〉	堤・他	指導案の修正を行い、実習に臨む	4 時間
15	修正についてのグループディスカッション	討議 〈遠隔〉	堤・他	指導案の修正を行い、実習に臨む	4 時間
成績評価方法・基準	事前指導の頻度と改善の程度 30%、Teams に提出された最終成果物の完成度 70%（堤）				
課題に対するフィードバック	学内発表時にフィードバックします				
教科書	・荒賀直子他：第 5 版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル ・厚生統計協会：国民衛生の動向 2020/2021				
参考書・参考文献	・日本看護協会「新版保健師業務要覧」第 3 版日本看護協会出版				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	堤 千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2 号館 220 室（内線 240） 実習地域に関心を持ち、対象の特性をとらえましょう。また、健康情報のエビデンスを探究し、住民に質問されても回答できる知識の上で健康教室を実施してください。 第 4 回の疫学的エビデンスについては、科目責任者の研究から一部結果を使用して説明します。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が教授する科目です				

開設科目名	個人・家族援助論Ⅱ	科目コード	BSNANS403	開設期	4年前期
単位数（履修区分）	2単位（自由）	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	渋江暁春	担当者	渋江暁春、眞崎直子、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
家庭訪問事例における対象別援助ニーズに応じた家族保健指導および家庭訪問の実践能力を育成する。また、対象別保健活動の動向を理解し、家庭訪問・健康相談からケアシステム構築までの発想を高める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 対象別保健活動の動向と保健指導について理解する。			◎ 3 看護実践知識、4 論理的・科学的問題発見力		
2. 家庭訪問における指導・相談・支援技術について習得する。			◎ 5 問題解決判断力、◎ 8 看護実践技術		
3. 家庭訪問・健康相談からのケアシステムの構築について理解する。			9 科学的根拠に基づく看護		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：TEAMS による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	感染症保健活動	講義＜遠隔＞	渋江	感染症保健活動について教科書を読んでおく	2時間
2	高齢者保健活動	講義＜遠隔＞	渋江	高齢者保健活動について教科書を読んでおく	2時間
3	精神保健活動① 精神保健福祉の歴史	講義＜遠隔＞	眞崎	精神保健活動について教科書を読んでおく	2時間
4	精神保健活動② 精神保健福祉の動向	講義＜遠隔＞	眞崎	精神保健活動について教科書を読んでおく	2時間
5	難病保健活動	講義＜遠隔＞	眞崎	難病保健活動について教科書を読んでおく	2時間
6	母子保健活動	講義＜遠隔＞	野上	母子保健活動について教科書を読んでおく	2時間
7	成人保健活動	講義＜遠隔＞	野上	成人保健活動について教科書を読んでおく	2時間
8	家庭訪問（家庭訪問までの準備）	講義＜遠隔＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問について教科書を読んでおく	2時間
9	家庭訪問の実際（目的・計画・アセスメント・評価について）	講義 ＜遠隔＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	2時間
10	家庭訪問演習（ロールプレイ含む） 新生児の発達段階のアセスメント	講義・演習 ＜面接＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	2時間
11	家庭訪問演習（ロールプレイ含む） 支援技術の評価	講義・演習 ＜面接＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	2時間
12	乳児健診に関する演習（ロールプレイ含む） 疾病異常の早期発見及び健康な発育・発達 促進への保健指導・支援	講義・演習 ＜遠隔＞	渋江・眞崎・野上	乳児健診の実際について教科書を読んでおく	2時間
13	1歳半・3歳児健診に関する演習（ロールプレイ含む） 運動機能・視聴覚・精神発達など以上の 早期発見・生活習慣の自立・う歯予防の ための保健指導・支援	演習・演習 ＜遠隔＞	渋江・眞崎・野上	1歳半・3歳児健診について教科書を読んでおく	2時間
14	家庭訪問に関する演習（ロールプレイ含む） 事例を通した家庭訪問記録の展開	演習＜面接＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について練習しておく	2時間
15	家庭訪問に関する演習（ロールプレイ含む） 事例を通した家庭訪問記録の評価	演習＜面接＞	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について練習しておく	2時間
成績評価方法・基準		授業中に出す課題 40%（渋江） 演習 60%（担当者全員）			
課題に対するフィードバック		課題レポートは webclass 上の e-ポートフォリオに提出、コメントを付けてフィードバック。演習は演習時にフィードバック			
教科書		・荒賀直子他「公衆衛生看護学、JP」インターメディカル 2020 ・標準保健師講座・3『対象別公衆衛生看護活動』医学書院 2020 ・厚生統計協会「国民衛生の動向 2020／2021			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		渋江暁春 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 shibue@stmaryacjp.onmicrosoft.com 眞崎直子 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 masaki@stmaryacjp.onmicrosoft.com 野上裕子 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 nogami@stmaryacjp.onmicrosoft.com 実習前家庭訪問については、公衆衛生看護学実習事前学習として、実習前 1 週間の中で行う。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が教授する科目です			

開設科目名	公衆衛生看護学実習	科目コード	BSNANS404	開設期	4 年前期・後期
単位数（履修区分）	5 単位（自由）	時間数	2 2 5 時間	授業区分	実習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、渋江暁春、野上裕子、田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
地域全体を対象として捉え、地域の健康問題を抽出する方法を学ぶ。また、地域住民がヘルスプロモーションを基盤とした健康予防活動の実践ができるような支援技術を学ぶ。一方、単独訪問や継続訪問を通し個の支援技術を体得し、さらに個の問題の集積を地域全体の健康課題につなげ、その課題を解決するための施策化の過程を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 地域の概況を把握し健康課題の根拠を示すことができる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 ◎8 看護実践技術 ◎9 科学的根拠に基づく看護		
2. 健康教育の企画立案・実施・評価ができる。					
3. 健康相談・家庭訪問・健康診査の法的根拠及び実施のプロセスと他職種との連携が理解できる。					
4. 地域ケアシステムの実践及び保健師の役割について理解できる。					
5. 施策化に必要な根拠と過程を理解する。					
6. 健康危機管理に必要な根拠と、組織的な管理体制について理解する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1)実習計画書に基づき、保健事業を実施する。 ・各実習場所での健康教育を実施する。 ・各実習場所での地区診断の発表をする。 実習指導者からの指導を受け、地区診断の修正や加筆を行う。 ・乳幼児健康診査、家庭訪問などの保健事業を実施する。 2)地域における人々の尊厳と権利 ・権利保障について 3)地域における様々な人口集団と個人・家族の健康な生活を保障する ・地域における在日外国人の動向・文化的背景についても考察する。 ＊詳細については、実習要項を参照する。	実習	全員	1)実習計画表に基づき、事前・事後学習をおこなう。 ・実習で探求する課題を決定する。 ・各実習場所から提示された健康教育の課題にそって、担当教員の指導を受けながら決定し、健康教育計画、健康教育の位置づけ、指導案等を作成する。 ・健康教育のデモンストレーションを実施し、担当教員より指導を受けながら修正をする。 ・実習場所の地区踏査や地区診断を実施し、各グループで発表する。 担当教員より指導を受け、修正や加筆を行う。 ・家庭訪問や乳幼児健康診査の演習を実施する。	5 時間
成績評価方法・基準		実習評価表にもとづく、実習目標到達および実習態度の評価 100% 評価者：眞崎直子			
課題に対するフィードバック		課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。			
教科書		・荒賀直子他：公衆衛生看護学、j p インターメディカル ・井伊久美子他：保健師業務要覧（最新版）日本看護協会出版会 ・厚生統計協会：国民衛生の動向（最新版）・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア			
参考書・参考文献		＊参考資料は随時提示します。			
ワイアラー 学習相談 メッセージ その他		眞崎直子（7 号館 2 階 722 研究室） 火曜日 12：10～13：10、その他在室時 masaki@stmaryacjp.onmicrosoft.com （質問もメールでも受け付けます。） ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 実習期間が夏季なので、体調管理を十分に実施して下さい。質問は随時受け付けます。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です			

開設科目名	在宅看護学実習	科目コード	BSNANS302	開設期	3年後期、4年前期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	橋口ちどり	担当者	橋口ちどり、渋江暁春、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
在宅看護学で学んだ知識・技術を基盤とし、在宅で療養する利用者および家族を対象に、病態や障害の視点から医学的管理や生活ニーズをアセスメントし、看護介入について学ぶ。また、在宅療養を支えるサービス機関と他職種を理解し、多職種連携について学ぶ。さらに、入院中からの継続看護と在宅ケアシステムの理解から、地域包括ケアシステムを考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.実習する機関の、在宅ケアにおける役割と特性を述べることができる。			◎8 看護実践技術 ◎10 ケアリングの実践 11 多様な価値を尊重する姿勢 12 他職種協調リーダーシップ		
2.病態や障害の視点から生活ニーズをとらえ、ケアが実践できる。					
3.家族も含めた支援のありかたを考えることができる。					
4.看護の視点からケアマネジメント機能を考えることができる。					
5.在宅ケアを支える他職種を理解し、チームアプローチと看護職の役割を考えることができる。					
6.利用者やその家族への倫理的配慮や権利保障について考えることができる					
7.入院中からの継続看護や在宅ケアシステムの必要性について考えることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション（学内）情報収集と実習準備	実習	橋口・渋江・野上	提示された課題を学習し、訪問看護制度について、オリエンテーション時に口頭試問を受ける	1時間
2	訪問看護ステーション（1日目）	実習	橋口・渋江・野上	事前に提示された在宅医療や対象者の理解を予習しておく	1時間
3	訪問看護ステーション（2日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1時間
4	訪問看護ステーション（3日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、看護アセスメントを考える	1時間
5	訪問看護ステーション（4日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、看護介入計画を考える	1時間
6	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（1日目）	実習	橋口・渋江・野上	介護保険サービスを復習しておく	1時間
7	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（2日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1時間
8	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（3日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1時間
9	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（4日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1時間
10	実習のまとめ（学内）	実習	橋口・渋江・野上	実習で感じたこと、気づいたことをパワーポイントにまとめる 筆記テストを受け、解けなかった問題を復習する	1時間
成績評価方法・基準	評価表に基づく思考・技術および実習態度の評価（個人レポート課題を含む）70% 事前学修の口頭試問と、実習を踏まえた最終日の筆記試験を実施し、知識を確認 30%（評価者：橋口ちどり）				
課題に対するフィードバック	実習のまとめの後、知識確認テストを行い、個人的にフィードバックします。				
教科書	秋山正子他：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第5版 医学書院 2021 厚生統計協会：国民衛生の動向 2020/2021				
参考書・参考文献	ザ・ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院 在宅看護学概論、在宅看護学方法論で配布した講義資料				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	橋口ちどり オフィスアワー（火）16：00～17：00 7号館744室（内線744） hashiguchi@stmariacjp.onmicrosoft.com 在宅看護学概論・在宅看護学方法論で学んだことを、実習を通して理解をつなげてください。 講義で学習した内容、指示された課題の自己学習を行い、理解ができているかをオリエンテーション時に口頭試問します。事前学修をしていない者は実習準備ができていないとみなし、実習の履修はできません。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	フィールドスタディⅠ（フィリピン）	科目コード	BSNANS308	開設期	3 年または 4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
人種、宗教、文化、生活集団など普段の自身の生活とは異なる場に身を置いて、人間的価値、信仰、愛、能力を相互に分ち合うことなどを通して、『人間の尊厳』や『いのちに奉仕する意味』を学ぶ。同時に今後看護学の学びを深めるにあたり、常に世界の人々の健康を意識できるきっかけづくりを行う					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、キリストの歴史を通じ、日本とフィリピンの交わりを説明できる			◎ 6.コミュニケーションスキル		
2、フィリピンにおける保健医療の現状を理解することができる			9.科学的根拠に基づく看護		
3、ボランティア活動を通して、協力すること、協同することを学修する			10. ケアリングの実践		
4、さまざまな状況、特に厳しい経済状況の中で懸命に生きる人々との出会いを通して、「生きる」とはどういうことなのか、「幸福とは何か」を仲間と考え、考えを共有できる。			11.多様な価値を尊重する姿勢、		
5、プライマリヘルスケアやヘルスプロモーションの意義を、社会の公平性・公正性という視点から考えることができる			◎ 12.他職種協調リーダーシップ		
			◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1, 日本とフィリピンのかかわりを学ぶ（事前学習）	講義	秦野	フィリピンについて、政治、経済、社会、文化、保健医療状況などを調べる	
2	2, WPRO（WHO, Western Pacific Regional Office）の活動内容を学ぶ	講義	(WPRO) 秦野	WHO, WPRO についてインターネットを活用し、調べる（事前学習として）	
3	3, フィリピンのキリスト教について				
	3-1, 在マニラのカトリック系活動家の方からフィリピンのキリスト教についてと、マニラでの生活について学ぶ	講演	秦野		
	3-2, マニラ市内観光（St. Augustine Church, Manila Metropolitan Cathedral などを見学）	見学	秦野	フィリピンの歴史を調べておく	
	3-3, マザーテレサの家でのボランティア活動（ボランティアとの協同、日本人シスターのお話）	実習	秦野	マザーテレサの家について調べておく	
4	4, カノッサ修道女会での活動				
	4-1, カノッサ修道女会（プリハン）でのボランティア活動	実習	秦野	小児看護学を復習しておく	
	4-2, プリハン住民の健康問題や保健医療の状況を学ぶ（州立病院、地域におけるヘルスセンター見学、プリハン地区における結核問題、プリハンの家庭訪問、小学校訪問、等）	見学実習	秦野	フィリピンの保健医療問題を調べておく	
	4-3, プリハンの子供たちに健康教育を実施する	実習	秦野	健康教育の準備とリハーサルを行う	
	4-4, カノッサ修道女会（トンド、マニラ）で妊婦検診の見学実習	実習	秦野	妊婦検診の手順を教科書、視聴覚教材を用いて事前学修する	
5	5, カノッサカレッジでの実習				
	5-1, サンパブロ州立病院での見学実習（主に産科病棟）	実習	秦野	妊娠、出産、産褥に関し視聴覚教材を用いて事前学修しておく 母乳について調べる	
	5-2, 教会附設 高齢者施設でのボランティア活動	実習	秦野	日本の高齢者施設における活動を事前学修する	
6	6, 経験と学びを大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告する（発表会を開催する）	発表	秦野		
成績評価方法・基準	事前学習 20% 実習中の積極的な参加（心身の健康管理を含む）と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20%（評価者 秦野）				
課題に対するフィードバック	事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。				
教科書	特に指定しない。				
参考書・参考文献	2 年次の教科書、各国連機関、JICA、外務省、NGO のホームページなどを積極的に活用すること				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	フィールドスタディⅡ（ラオス）	科目コード	BSNANS405	開設期	3 または 4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	9 0 時間	授業区分	オンライン実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
既修の知識・技術をベースに、オンラインでの異文化体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 ラオス人民民主共和国は、OECD（経済開発協力機構）の DAC（開発援助委員会）援助受け取り国のひとつであり、開発途上国に位置づけられる。そこで生活する人々の保健医療の状況や健康問題について学修し、看護に求められているものと考え、人々の健康向上のために看護としての貢献を考えることができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習としてラオス人民民主共和国の政治、経済、社会、歴史、文化などを調べ理解できる。			◎ 11.多様な価値を尊重する姿勢 ◎ 12.他職種協調リーダーシップ ◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢 6.コミュニケーションスキル 9.科学的根拠に基づく看護 10. ケアリングの実践		
2 ラオスにおける現在の健康問題、保健医療の現状を説明できる					
3 異文化におけるコミュニケーションを成立させるため、簡単なラオス語を学修し、あいさつ程度の会話ができるようになる。					
4 ラオスの農村部において実施されている、ISAPH（International Support and Partnership for Health）の活動をオンライン見学し、事前学習と合わせて、ラオスの農村部の人々が持つ健康問題を理解することができる。					
5 ラオスの首都、ラオスの地方都市、農村部をオンラインで訪問し、開発途上国における国内格差について理解することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）可能な限りにおいて対面で演習、オンライン実習を行う。オンライン実習においては ZOOM を活用し、聖マリア学院大学、ISAPH 東京事務所、ISAPH ラオス事務所を接続し実施する					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1、事前学習（第 1 週目、学内学修 5 日間）		秦野		
2	1－1、ラオス人民民主共和国特徴を学ぶ（政治的、社会的、経済的、歴史的、文化的背景など）	演習 （対面）	秦野	インターネットを活用し、ラオスについて調べる。 特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
3	1－2、ラオスの保健医療状況、健康問題などの指標収集し、現状を把握する	演習 （対面）	秦野	インターネットを活用し、ラオスについて調べる。 特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
4	1－3、ISAPH の活動について学修する	演習 （対面）	秦野	インターネットで ISAPH の活動状況を調べる	2 時間
5	1－4、あいさつ程度のラオス語を学修する	演習(対面)	秦野		
6	2、オンラインフィールドスタディ（第 2 週目、オンラインフィールドスタディ）	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野	事前学修した内容を理解して臨む	2 時間
7	2－1、ISAPH の活動地域である、ラオス、カムアン県タケク市近郊の農村地区において ISAPH の活動をオンライン見学する。	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
8	2－2、カムアン県にある県・郡病院をオンライン見学する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
9	2－3、カムアン県タケク市内の街、人々の生活の様子をオンラインツアーで学修する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
10	2－4、首都ビエンチャンの街の様子、人々の生活の様子をオンラインツアーで学修する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
11	2－5、首都の国立医学教育病院（マホソット総合病院）をオンライン見学する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
12	3、事後学習（学内学修）		秦野	事前学修、オンラインフィールドスタディでの学びを統合させる	
13	3－1、ラオス国において学んだことをもとに、各自が報告書を作成する。 3－2、オンラインフィールドスタディでの学びをグループで振り返り、プレゼンテーションを行う	自己学習とプレゼンテーション （面接）	秦野		
成績評価方法・基準	事前学習 20% 学内学修への積極的な参加（30%）、オンラインフィールドスタディへの参加（50%）（評価者 秦野）				
課題に対するフィードバック	事前学習・事前学内学修での学びの共有を行い、オンラインフィールドスタディでの学修内容に関しては、内容ごとに理解の確認を行う				

教科書	特に指定しない。国連機関、JICA, NGOs 大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと
参考書・参考文献	上記に同じ。
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） * 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です

開設科目名	フィールドスタディー II (ラオス・タイ)	科目コード	BNSA405	開設期	3 または 4 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (自由)	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
既修の知識・技術をベースに、実際に異文化の中に身を投じるという体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 * ラオス人民民主共和国は、東南アジアの中でも最も貧困な国のひとつである。そこで生活する人々の保健医療の状況や健康問題について学修し、看護に求められているものを考え、看護大学生として実践できる健康教育を行う。 * タイ王国では姉妹校である St. LouisCollege を訪問し、タイの看護を概観する。加えて世界の中でも HIV 新規感染者の数を劇的に減少させた国での取り組みや、覚せい剤や麻薬常習者への健康改善の取り組みについて学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1 事前学習としてラオス人民民主共和国、タイ王国の政治、経済、社会、歴史、文化などを調べ理解できる。			11 異文化理解と国際貢献		
2 両国における現在の健康問題、保健医療の現状を説明できる			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、10 将来の課題と看護職の役割		
3 異文化におけるコミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫し、会話ができるように準備することができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎		
4 ラオスの農村部において、ISAPH (International Support and Partnership for Health) の活動を見学し、事前学習と合わせて、現地に適した (子供に対する) 健康教育の実施ができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、11 異文化理解と国際貢献、		
5 タイの首都バンコクにある St. LouisCollege、スラム地区にある NGO、エイズにかかわる事業などを見学し、タイにおける看護と感染症対策や人々の健康向上のための取り組みを理解することができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、11 異文化理解と国際貢献、		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	1、 事前学習	秦野			
2	1－1、ラオス人民民主共和国、タイ王国の特徴を学ぶ (政治的、社会的、経済的、歴史的、文化的背景など)	秦野	演習	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
3	1－2、両国の保健医療状況、健康問題などの指標収集し、現状を把握する	秦野	演習	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
4	1－3、あいさつ程度のラオス語・タイ語を準備する	秦野	演習		2 時間
5	2、 フィールドスタディー	秦野	実習		
6	2－1、ラオス、カムアン県タケウ市近郊の農村地区において ISAPH の活動を見学する。	秦野	実習	ラオス全般について調べておく	2 時間
7	2－2、日々実習を振り返り、保健医療問題、文化・社会的背景を知り、解決方法を含む助言を考える	秦野	実習		2 時間
8	2－3、カムアン県にある県・郡病院の見学	秦野	実習		2 時間
9	2－4、ピエンチャンにある国立医学教育病院見学	秦野	実習		2 時間
10	2－6、ラオス JICA 事務所、WHO ラオス事務所を訪問し、ラオスの保健医療事業活動について学ぶ	秦野	実習		2 時間
11	2－7、タイ St. Louis College、St. Louis hospital、タイ王国公衆衛生・保健省、バンコクのスラム地区の NGO、HIV エイズ関連事業を訪問し、タイにおける看護の実際、感染症対策について学ぶ。	秦野	実習	タイについて調べておく。	2 時間
12	3、 事後学習	秦野			
13	3－1、ラオス・タイ両国において学んだことをもとに、報告書を作成し、大学祭と翌年度の新年度オリエンテーションにおいて報告を行う	秦野	自己学習 とプレゼン テーション		
成績評価方法・基準 課題に対するフィードバック	事前学習 20% 実習中の積極的な参加 (心身の健康管理を含む) と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20%				
教科書 (番号があるもの) 参考書・参考文献	特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 各大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください (office 365 メール) * 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います				

開設科目名	フィールドスタディⅡ（韓国）	科目コード	BSNANS405	開設期	3年または4年前期
単位数（履修区分）	2単位（自由）	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
既習の知識・技術をベースに、実際に異文化の中に身を投じるという体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 医療施設内（釜山カトリック大学学生実習施設、ソウル聖マリア病院、他）において、見学実習を行うことで、大韓民国における保健医療の状況や、看護の文化的・歴史的・社会的背景を知る。 大韓民国の看護の発展を学び、その特徴を、日本を含む諸外国と比較する。 大韓民国の保健医療状況、健康問題、特に最近の社会状況、例えば高齢社会における看護の役割を考え、討論することができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習として大韓民国の政治、歴史、文化などを調べ、理解できる			◎ 6.コミュニケーションスキル、 9.科学的根拠に基づく看護 10. ケアリングの実践、 11.多様な価値を尊重する姿勢、 ◎ 12. 多職種協調リーダーシップ ◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
2 韓国における現在の健康問題、保健医療の現状を理解し、説明できる					
3 異文化コミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫することができる					
4 医療施設内で展開される看護を見学し、現在の大韓民国の看護についての理解を深める					
5 花の村への訪問で、大韓民国の現在の保健・福祉分野の特徴、問題、社会的背景を理解できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1、事前学習		秦野		
	1－1、大韓民国の政治、経済、社会、文化などについて調べる 1－2、韓国の保健医療問題について調べる 1－3、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でのプレゼンテーションを行う準備をする	演習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる 日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でのプレゼンテーションを行うことができるように準備する	2時間
2	2、釜山において 2－1、釜山カトリック大学校の学生実習施設における見学実習（2次医療施設、高齢者施設、など） 2－2 釜山カトリック大学校において、韓国の保健医療の状況、韓国の看護の歴史、などの講義を受ける 2－3、釜山カトリック大学校の学生との交流、文化体験学修	演習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2時間
3	3、ソウルにおいて 3－1、韓国カトリック大学校看護学部において大韓民国の健康問題、高度実践看護師の状況、WHO コラボレーションセンターの役割についての講義を受ける 3－2、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でプレゼンテーションを行う 3－3、ソウル聖マリア病院内で看護学見学実習を行う。ホスピスと在宅看護部門での実習を含む	実習	秦野	事前学習したことを、再度復習しておく 日本のホスピスと在宅看護（訪問看護）について学習しておく	
4	4、コッソネ 花の村訪問	実習	秦野	花の村とはどういうところか調べておく	2時間
5	5、事後学習		秦野		
	5－1 報告書を作成する	演習	秦野		
	5－2、大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告会を行う		秦野	事前学習から実習全体を振り返り、経験を共有できるように準備する	4時間
成績評価方法・基準		事前学習 20%、実習中の積極的な参加（心身の健康管理含む）と帰国後のレポート作成 60%、報告会 20%（評価者 秦野）			
課題に対するフィードバック		事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。			
教科書		特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 各大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと			
参考書・参考文献		上記に同じ			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） ＊国際看護活動は、私を生き活きとさせていただきます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

設科目名	看護研究Ⅱ	科目コード	BSNANS311	開設期	3年後期-4年通年
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	90時間	授業区分	演習
責任者	中村和代	担当者	ゼミ担当教員		
授業の概要（授業の目的）					
関心のあるテーマについて目的を明確にし、データを収集する。得られた結果について文献を活用して考察し、結論を導くという一連のプロセスを学修する。社会や人々の幸福（Well-being）を目指した看護研究への関心・意欲を高める導入とし、科学的思考、問題解決について探求していく姿勢を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 関心をもった内容を課題として明らかにできる			4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力 ◎9. 科学的根拠に基づく看護 ◎14. 看護学発展への主体的探求姿勢		
2) 課題を探究する動機や課題の背景について先行研究を活用して記述できる					
3) 研究目的を明確にし、5W1Hを意識して研究計画書を作成できる					
4) 倫理的配慮に留意し、研究計画書に沿ってデータを収集できる					
5) 得られたデータを適切な方法で分析し、図表を活用して結果を表現できる					
6) 結果について文献を活用して考察し科学的・論理的に結論を導くことができる					
7) 研究テーマ、研究目的、結果、結論まで筋が通るように記述できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔時の授業方法：zoom、teams等、各担当教員の指示に基づく					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス	講義＜Teams＞	中村	関心のあるテーマについて文献収集しておく	
2	文献収集	ゼミナール ＜対面/遠隔＞	ゼミ担当教員	研究のすすめ方は、指導教員の指示による	
3	論文のクリティーク				
4	研究計画書作成				
5	研究実施				
6	結果の分析				
7	論文作成				
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準	ゼミナールへの参加状況・態度 20％，研究実施、抄録・論文作成 80％，（評価者：各担当教員）				
課題に対するフィードバック	各ゼミナールの中で随時フィードバックいたします				
教科書	早川和生；看護研究の進め方 論文の書き方 第2版，医学書院，2014				
参考書・参考文献	中村好一；基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆，医学書院，2013 道又元裕；ケアの根拠 第2版 看護の疑問に答える180のエビデンス，日本看護協会出版会				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	実習中に疑問に思ったこと、エビデンスを探求したいこと等、その都度控えておきましょう。 指導教員と連絡を密に取り、計画的に進めましょう。 この科目では、倫理審査を受けませんので倫理的配慮については、十分に留意し、指導教員の指示に従ってください。 オフィスアワー：各指導教員のオフィスアワーは、ご確認ください。 学修相談は、随時、受付ます。Office365メール利用も可 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 各ゼミ指導者から、テーマに関連する研究成果をご紹介します。				

開設科目名	看護教育論	科目コード	BSNANS406	開設期	4 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	大池美也子	担当者	大池美也子		
授業の概要（授業の目的）					
教育の基本概念及び看護の歴史的変遷過程を理解し、看護教育の方法・評価の実際を学び、今後の看護教育の課題について教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 日本の看護教育の歴史的変遷を理解できる			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2. 看護教育の方法・評価を理解できる					
3. 今後の我が国の看護教育における課題を考えることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）＊遠隔授業の方法：Zoom を使用した同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護教育の歴史	講義〈遠隔〉	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4 時間
2	教育の制度と課程	講義〈遠隔〉	大池	指定教科書第 2 章に目を通す	4 時間
3	学習理論	講義〈遠隔〉	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4 時間
4	教育の方法	講義〈遠隔〉	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4 時間
5	教育の評価	講義〈遠隔〉	大池	指定教科書第 6 章に目を通す	4 時間
6	継続教育	講義〈遠隔〉	大池	指定教科書第 7 章に目を通す	4 時間
7	諸外国の看護教育	講義〈遠隔〉	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4 時間
8	我が国の看護教育における課題	講義〈遠隔〉	大池	レポートの作成	4 時間
成績評価方法・基準	課題レポート 7 0 %、講義参加状況 3 0 %で評価をする。（大池）				
課題に対するフィードバック	講義毎に前回の講義内容を振り返り、理解の程度を確認する。				
教科書	・グレッグ美鈴／池西悦子：看護教育学、南江堂、2009				
参考書・参考文献	・杉森 みどり／舟島 なをみ：看護教育学第 6 版、医学書院、2016				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	大池 美也子（非常勤） 講義終了後、教室で質問を受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。看護教員コンピテンシーモデルの開発や臨床経験に基づく教育方法、患者教育の方法等について研究をしていますので、それらを踏まえた授業内容になります。				

開設科目名	ケアリングサイエンス	科目コード	BSNANS407	開設期	4 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、井手信、桃井雅子、中村和代、崎田マユミ、秦野環、谷多江子、大城知恵、他		
授業の概要（授業の目的）					
ケアリングサイエンスは、本学の教育理念に基づく科目と位置づける。これまでの講義や演習、実習で学んだケアの意味、ケアの方法、ケアの実践を通してケアリング及びケアリングサイエンスについて検討し、本学が目指すいのちの支援者について探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 本学の建学の精神とケアリングサイエンスの関連を説明できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳、 10. ケアリングの実践		
2) 実習で経験した、さまざまな対象へのケアの実践を通して看護の本質的な概念としてのケアリングを述べることができる。					
3) ケアリングを学ぶことで、いのちの支援者としての看護職の役割や責任を説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業時の方法：zoom による同時双方向授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	建学の精神とケアリングサイエンス	講義 ＜遠隔＞	井手信	建学の精神について、これまでの学修を通して思考し講義に臨む。	2 時間
2	Caring and Practice ケアリングの実践 ①いのちの誕生とケアリング	講義 ＜遠隔＞	桃井他	母性看護学実習の経験を通して、いのちの誕生とケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
3	Caring and Practice ケアリングの実践 ②子どもとケアリング	講義 ＜遠隔＞	大城他	小児看護学実習の経験を通して、子どもとケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
4	Caring and Practice ケアリングの実践 ③成人とケアリング	講義 ＜遠隔＞	崎田	臨床看護学実習Ⅰ、Ⅱの経験を通して、成人とケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
5	Caring and Practice ケアリングの実践 ④老年とケアリング	講義 ＜遠隔＞	中村	老年看護学実習の経験を通して、老年とケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
6	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑤精神障がい者とケアリング	講義 ＜遠隔＞	谷	精神看護学実習の経験を通して、精神障がい者とケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
7	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑥リハビリテーションとケアリング	講義 ＜遠隔＞	日高	リハビリテーションとケアリングについて思考し講義に臨む。	2 時間
8	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑦異文化とケアリング ケアリングサイエンスの課題	講義 ＜遠隔＞	秦野	異文化とケアリング、ケアリングサイエンスの課題について思考し講義に臨む。	2 時間
成績評価方法・基準	レポート 100% （評価者：科目責任者）				
課題に対するフィードバック	レポート課題については後日教員が返却します。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	M メイヤロフ（1971・1987 日本版訳）ケアの本質―生きることの意味は― M レイニンガー（1992・1995 稲岡訳）レイニンガー看護論、文化ケアの多様性と普遍性 J ワトソン（1988・1992・稲岡訳）：ワトソン看護論―人間科学とヒューマンケア― J ワトソン（日本語版・2003）看護におけるケアリングの探求―手がかりとしての測定用具 P ベナー（1984・2005 井部他訳）：ベナー看護論―初心者から達人へ ネル・ノディングス（日本語版 2007）学校におけるケアの挑戦―もうひとつの教育を求めて ネル・ノディングス（日本語版 2008）幸せのための教育				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	事前・事後の予習・復習と、学んだことの整理をしておくこと。 オフィスアワー：日高艶子（7 号館 3 階、L731 研究室）、金曜日 16：00-17：00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	災害看護論	科目コード	BSNANS408	開設期	4 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
日本国内外において起こる災害に関し学修し、災害時における看護の特性と役割を学ぶ。国内外の災害時の救援活動について理解する					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、災害および災害看護に関する基礎的知識（社会の対応や個人の備えも含む）を説明できる			1、生命の価値・人間の尊厳、 ◎ 3、看護実践知識、 4、論理的・科学的問題発見能力、 ◎ 5、問題解決判断力、 6、コミュニケーションスキル、 9、科学的根拠に基づく看護、 ◎ 12、多職種協調リーダーシップ		
2、災害が人々の生命や生活におよぼす影響を説明できる					
3、災害時に看護が果たす役割を説明できる					
4、災害各期における看護活動をイメージすることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業時の方法：zoom による同時双方向授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	災害とは、災害の種類と災害サイクル	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 16～ p 46 まで「必ず」読んでおく	4 時間
2	災害医療に関する国の施策と法律	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 47～ p 71 まで読んでおく	2 時間
3	災害時の支援体制と災害医療活動の特徴	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 73～p128 まで読んでおく	4 時間
4	災害初期から中長期における活動	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 129～p164 まで読んでおく	4 時間
5	被災者と支援者に対するこころのケア	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 165- p184 を読んでおく	4 時間
6	配慮を必要とする人々への看護	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 185～p238 まで読んでおく	4 時間
7	防災・減災マネジメント	講義 〈遠隔〉	秦野	教科書 p 239～ p 262、よく読んでおく	4 時間
8	災害看護活動の実際	講義 〈遠隔〉	秦野	過去の災害のビデオ、映像資料を視聴しておく （図書館の DVD、you tube, などから）	4 時間
成績評価方法・基準		期末試験 100%			
課題に対するフィードバック		毎回の講義のあと、forms を活用し、復習を行う。			
教科書		・ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 第 5 版 災害看護、酒井明子 編、株式会社メディカ出版（2022）			
参考書・参考文献		適時紹介します。			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 研究室 2 号館 1 階、214 研究室 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、 その他は事前にメールで連絡ください（office 365） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	総合看護学実習	科目コード	BSNANS409	開設期	4年通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	近末清美	担当者	看護系教員		
授業の概要（授業の目的）					
総合看護学実習は、看護基礎教育における学習の総括であり、学生が主体的に展開する実習である。学生は本実習における課題を決定し、決定した課題を達成するために、実習の調整を主体的に行い、準備を整える。実践の場では、課題にそって看護を探究し、看護の本質にふれ、卒業後も継続して看護学を追求する姿勢について学ぶ。また、看護専門職者としての意識を高め、看護学の発展に寄与しようとする意欲をもつことが期待される。					
学修の到達目標		ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連			
1. 総合看護学実習において探究する課題を決定できる。		◎8. 看護実践の探究 9. 看護職の責務と医療安全管理 10. 将来の課題と看護職の役割			
2. 課題を達成するために、必要とされる調整を主体的に行い、実習計画書を作成できる。					
3. 看護倫理に基づく責任ある看護実践を提供できる。					
4. 看護実践における看護職の役割と課題を探究することができる。					
5. 看護の専門職として生涯学修すること、看護学の発展に寄与しようとする意識をもつことができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1～15	1）主体的に実習の準備を行なう。 ・実習で探究する課題を決定する。 ・課題を達成するための実習場所について、担当教員のサポートを受けながら決定し、実習計画書案を作成する。 ・担当教員との調整終了後、作成した実習計画書案について、実習場所の師長や教育担当者に説明し、必要であれば調整し、実習計画書を決定する。 2)実践 ・作成した実習計画書に基づき主体的に実習を行なう。 ・実習開始後に何らかの理由で実習計画の変更を必要とされた場合は、誰に相談すべきかを判断し、主体的に計画の修正を行なう。 ・課題を達成するために必要と判断したことについて積極的に考え、行動する。 3)まとめ ・実習の準備段階と実習一週間終了後のプログレスレポートを提出する。 ・最終レポートを提出する。	実習	看護系教員		
成績評価方法・基準		レポート：①実習計画 20%、②プログレスレポート 20%、③最終レポート 60% 評価者：担当教員			
課題に対するフィードバック		担当者からその都度フィードバックを行います			
教科書		適宜紹介する。			
参考書・参考文献		特になし			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		シラバス内の専任教員連絡先一覧を参照し、指導教員に確認する。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			